

議員提出第 3 号議案

核兵器廃絶のため、日本政府が積極的な役割を果たすことを求める  
意見書

上記の議案を提出する。

令和元年9月30日

提出者	府中市議会議員	にしみや	幸	一
賛成者	"	竹内	祐	子
	"	西の	なお	美
	"	渡辺		将
	"	杉村	康	之

## 核兵器廃絶のため、日本政府が積極的な役割を果たすことを求める 意見書

広島、長崎に原爆が投下されてから74年、被爆者を先頭に多くの人々が核兵器の非人道性を訴え、核兵器廃絶を求める運動を続けてきた。運動はノーベル平和賞を核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）にもたらした。「核軍縮の実質的な進展のための賢人会議」では核保有国と非核保有国の有識者たちが議論を続けている。日本は、核兵器不拡散条約に署名、批准した唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶のための取り組みをさらに進めるべきだと考える。

平成29年7月7日、国連で122カ国の賛成で採択された核兵器禁止条約は、核兵器にかかわるあらゆる活動を全面的に禁止し、廃絶を目指す画期的なものである。核兵器は、破滅的な結末をもたらす非人道的な兵器であり、国連憲章、国際人権法等に反する国際的にも不道徳で違法なものである。条約は、核兵器完全廃絶への枠組みを示していると同時に、核兵器の使用や実験により被害を受けた個人への援助を行う責任も明記され、被爆国、被害国の国民の切望に応えるものとなっている。

昭和61年8月15日、府中市が行った「府中市平和都市宣言」では、「すべての核兵器と戦争をなくし、平和な世界を築くことは、人類共通の差し迫った課題です。平和憲法の花神から非核三原則を遵守し、すべての国の人々と手を携え、かけがえのない地球を真に平和なものにし、愛する郷土を未来に引き継ぐことは、私たちの責務です。府中市は、平和への誓いを新たにし、心から世界平和の願いを込めて、ここに平和都市であることを宣言します。」と述べている。

よって、府中市議会は、政府に対し、核兵器廃絶へ積極的な役割を果たし、核兵器禁止条約に署名し、批准することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月30日

議 長 名

（あて先） 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官